

2025年3月期第3四半期 決算概要

2025年2月13日
宝ホールディングス株式会社

内容

1. 実績サマリー
2. 宝ホールディングス（連結）業績
3. 事業別 業績
4. 宝酒造 業績
5. 宝酒造 営業利益増減分析(対前期)
6. 宝酒造インターナショナルグループ[°] 主要子会社業績
7. 宝酒造インターナショナルグループ[°] 営業利益増減分析（対前期）
8. 通期予想サマリー
9. 宝ホールディングス（連結）通期予想
10. 事業別 通期予想
11. 宝酒造 通期予想
12. 宝酒造 営業利益増減分析(対前期)
13. 宝酒造 営業利益増減分析(対前回予想)
14. 宝酒造インターナショナルグループ[°] 主要子会社通期予想
15. 宝酒造インターナショナルグループ[°] 営業利益増減分析(対前期)
16. 宝酒造インターナショナルグループ[°] 営業利益増減分析(対前回予想)

1.2025年3月期 第3四半期 実績サマリー

・ グループ連結

連結売上高は、前期比プラス5.3%、連結営業利益は、前期比マイナス16.1%、連結経常利益は前期比マイナス14.6%となりました。また、投資有価証券や固定資産の売却による特別利益が38億700万円、固定資産の除却などによる特別損失を3億9,700万円計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期比マイナス6.7%となりました。

・ 宝酒造

・売上高は、前期比マイナス2.5%の減収となりました。品種別では本みりん、その他調味料が増加しましたが、ソフトアルコール飲料が、当期10月の価格改定の影響により、販売数量が減少したことで前期並みの水準にとどまり、焼酎、清酒は、市場全体の縮小にともない減少しました。

・売上総利益は、売上高の減少に加え、原材料、容器包装品のコストアップや為替の影響により、売上原価率が上昇したことで減少しました。さらに運送費、保管料、広告宣伝費などが増加したことで営業利益は、前期比マイナス23.3%の減益となりました。

1.2025年3月期 第3四半期 実績サマリー

・ 宝酒造インターナショナルグループ°

・売上高は、前期比プラス13.6%となりました。海外酒類事業では、バーボンウイスキーを販売するアメリカのエイジ・インターナショナル社が好調に推移し、海外日本食材卸事業は、外食市場の低迷は続いているものの、海外での日本食材の広がり背景にアメリカのミューチャルトレーディング社、イギリスのタザキフーズ社、オーストラリアのニッポンフード社などが堅調に推移し、増収となりました。

・売上高の増加により売上総利益も増加し、営業利益は、海外酒類事業が増益となり、海外日本食材卸事業では人件費や倉庫料などの販管費が増加し、減益となりましたが、全体では前期比プラス4.9%の増益となりました。

・ タカラバイオグループ

・売上高は、新型コロナウイルス検査関連製品の販売減少、ライフサイエンス研究市場の低迷などにより、前期比マイナス1.5%となりました。

・売上高の減少や、相対的に利益率の高い検査関連試薬の減収や売上構成の変化の影響などにより、売上原価が増加したことで売上総利益が減少し、販管費が増加したため、営業利益は、14億7,300万円の営業損失となりました。

2.2025年3月期 第3四半期 宝ホールディングス（連結） 業績

	2025年3月期 第3四半期 実績	前期比 (%)	(百万円)
売上高	266,935	+5.3	
売上総利益	87,523	+3.7	
営業利益	14,909	▲16.1	
経常利益	16,066	▲14.6	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	13,002	▲6.7	
	2025年3月期 第3四半期 実績	2024年3月期 第3四半期 実績	
海外売上高比率 (タカラバイオグループ除く)	57.6% (55.8%)	53.9% (52.1%)	

3.2025年3月期 第3四半期 事業別 業績

(百万円)

		2025年3月期 第3四半期 実績	前期からの増減	前期比 (%)
宝酒造	売上高	95,131	▲2,488	▲2.5
	売上総利益	24,620	▲1,561	▲6.0
	営業利益	5,350	▲1,627	▲23.3
宝酒造 インターナショナル グループ ^o	売上高	133,316	+15,938	+13.6
	売上総利益	43,480	+6,116	+16.4
	営業利益	9,372	+439	+4.9
タカラバイオ グループ ^o	売上高	29,282	▲452	▲1.5
	売上総利益	16,369	▲1,671	▲9.3
	営業利益	▲1,473	▲1,810	—

4.2025年3月期 第3四半期 宝酒造 業績

(百万円)

		2025年3月期 第3四半期 実績	前期比 (%)
	焼酎	25,305	▲6.9
	清酒	8,688	▲7.1
	ソフトアルコール飲料	33,105	0.0
	その他酒類	4,080	▲3.9
	本みりん	7,942	+1.4
	その他調味料	7,329	+2.1
	原料用アルコール等	8,680	▲0.6
売上高	95,131	▲2.5	
売上総利益	24,620	▲6.0	
営業利益	5,350	▲23.3	

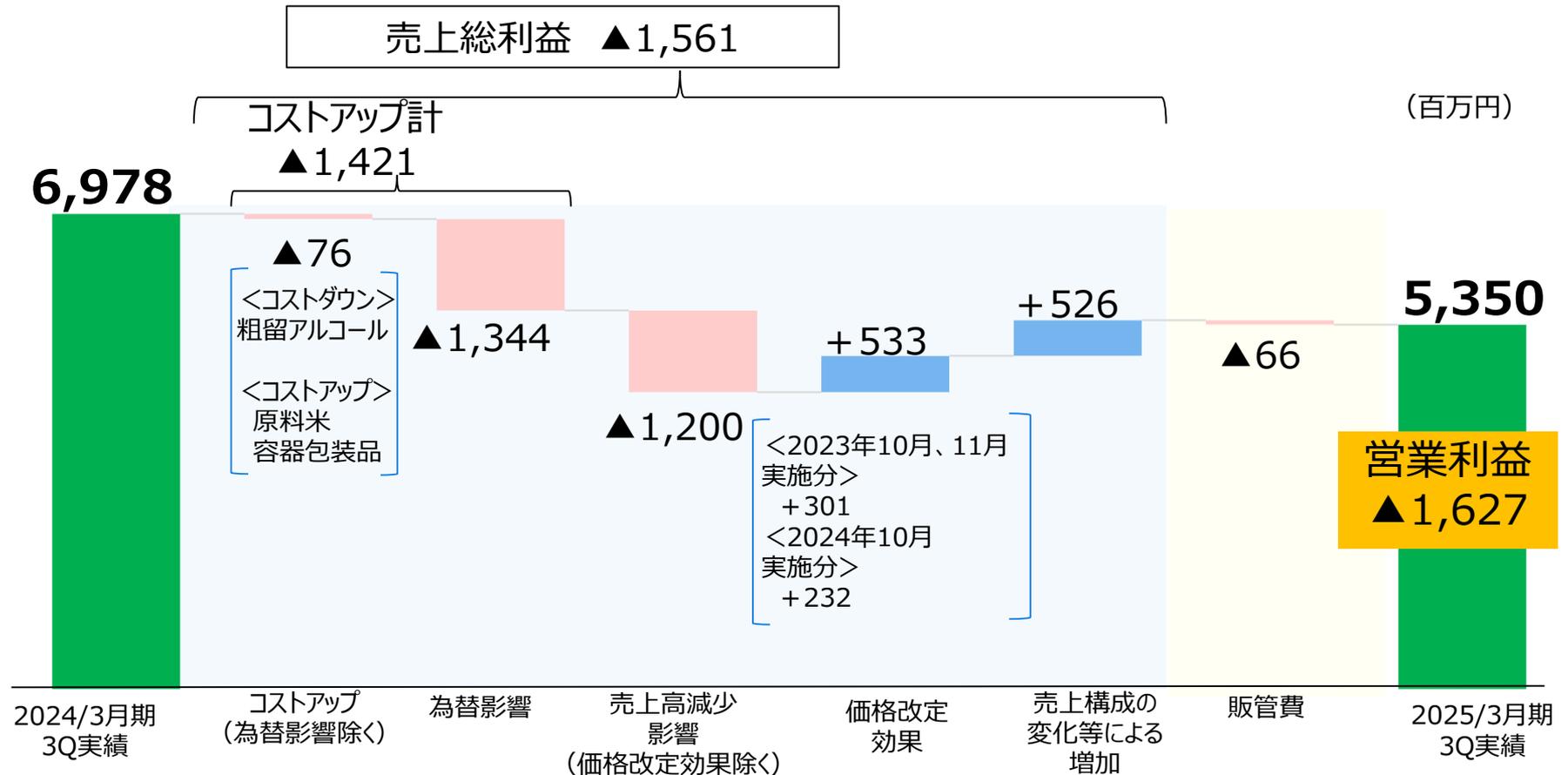
6.2025年3月期 第3四半期 宝酒造インターナショナルグループ 主要子会社業績

			2024年3月期 第3四半期 実績		2025年3月期 第3四半期 実績	
			売上高	営業利益	売上高	営業利益
海外酒類事業	米国宝酒造	千USドル	33,803	3,868	33,688	4,142
		百万円	4,672	534	5,102	627
	宝酒造食品（中国）	千元	34,234	▲ 1,823	30,632	▲ 1,996
		百万円	671	▲ 35	642	▲ 41
	トマーチン（英国）	千ポンド	22,689	6,723	17,587	4,892
		百万円	3,906	1,157	3,399	945
IIG・インターナショナル（米国）	千USドル	38,371	17,756	48,264	25,184	
	百万円	5,304	2,454	7,309	3,814	
海外日本食材卸事業	フーデックス7社連結（欧州）	千ユーロ	133,213	6,695	125,819	4,943
		百万円	19,949	1,002	20,702	813
	コミンポート連結（欧州）	千ユーロ	72,632	8,648	73,069	7,653
		百万円	10,877	1,295	12,022	1,259
	タザキフーズ（英国）	千ポンド	56,289	3,234	58,134	2,873
		百万円	9,691	556	11,237	555
	ミューチャルトレーディング（米国）	千USドル	417,856	22,125	445,242	17,845
		百万円	57,764	3,058	67,431	2,702
	ニッポンフード（豪州）	千AUSドル	49,514	3,267	52,232	2,825
		百万円	4,573	301	5,235	283
東京共同貿易	百万円	10,583	595	13,194	641	

5.2025年3月期 第3四半期 宝酒造 営業利益増減分析 <対前期>

為替影響を含むコストアップや、市場が縮小している焼酎、清酒などの売上高の減少を、価格改定効果や、売上構成の変化等で補い切れず、売上総利益が減少し、減益

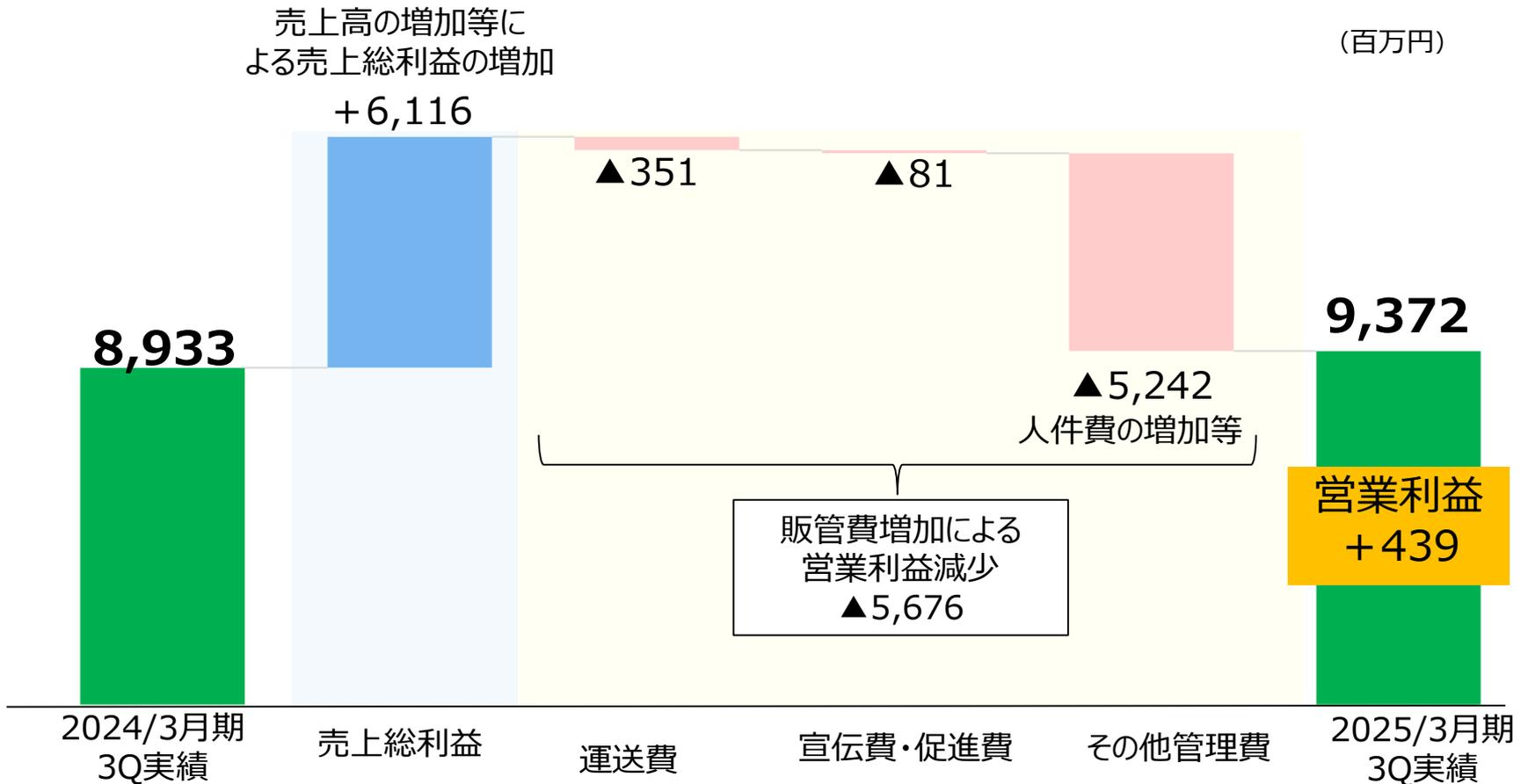
◇対前期営業利益増減分析 (利益の増加要因を「+」、減少要因を「▲」で表示)



7.2025年3月期 第3四半期 宝酒造インターナショナルグループ 営業利益増減分析 <対前期>

売上高の増加により売上総利益が増加したことで、人件費等の販管費の増加を補い、増益

◇対前期営業利益増減分析 (利益の増加要因を「+」、減少要因を「▲」で表示)



8.2025年3月期 通期予想サマリー

・ グループ連結

- ・売上高は、前期比プラス6.7%となり、前回予想からの変更はありません。
- ・営業利益は、前期比マイナス4.7%となり、前回予想比はマイナス17.5%となる見通しです。
- ・経常利益は、前期比マイナス4.4%となり、前回予想比はマイナス15.2%となる見通しです。
- ・親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券や固定資産の売却などによる特別利益が47億5,000万円、特別損失は、固定資産の除却など、12億5,000万円を見込み、前期比マイナス1.7%、前回予想比は、マイナス7.6%となる見通しです。

・ 宝酒造

- ・売上高は、前期に対しては、品種別では、本みりんを除く全ての品種が減少し、全体でも前期比マイナス4.3%となる見通しです。予想時に織り込まれていなかった価格改定の実施により、「天」などが落ち込む清酒や、ソフトアルコール飲料が減少し、マイナス3.2%となる見通しです。
- ・営業利益は、売上高の減少に加え、容器包装品のコストアップや為替影響により売上総利益が減少し、販売促進費などの販管費の効率的な使用に努めるものの、前期比はマイナス14.9%、前回予想に対してもマイナス18.3%となる見通しです。

8.2025年3月期 通期予想サマリー

・ 宝酒造インターナショナルグループ

・売上高は、海外酒類事業では、エイジ・インターナショナル社が堅調に推移し、海外日本食材卸事業は、新たにグループに迎え入れた企業の上乗せもあり、全体ではプラス15.8%となる見通しです。前回予想に対しては、海外酒類事業は堅調に推移し、海外日本食材卸事業は下期の外食市場の回復が遅れているものの、為替の影響があり、全体ではプラス3.7%となる見通しです。

・営業利益は、前期に対しては、海外酒類事業は、売上高が堅調に推移し、海外日本食材卸事業は、売上高の増加により売上総利益が増加するものの、既存企業の販管費が増加し、全体ではマイナス2.4%となる見通しです。前回予想に対しては、海外酒類事業は予想を上回るものの、海外日本食材卸事業では下回り、全体ではマイナス12.7%となる見通しです。

・ タカラバイオグループ

・売上高は前期比プラス4.6%となる見通しです。前回予想に対しては、欧米のインフレの長期化や中国の経済不況の影響などを受け、ライフサイエンス研究開発市場の市況がさらに悪化し、製品やサービスの価格競争も激化していることから、試薬・機器事業および受託事業などの売上高は前回予想を下回り、全体ではマイナス7%となる見通しです。

・営業利益は前期と同水準となる見通しですが、売上高の減少により前回予想に対しては、マイナス40%となる見通しです。

9.2025年3月期 宝ホールディングス（連結） 通期予想

	2025年3月期 通期予想	前期比 (%)	5/10予想比 (%)
売上高	362,000	+6.7	0.0
売上総利益	120,600	+5.9	▲2.3
営業利益	21,200	▲4.7	▲17.5
経常利益	22,300	▲4.4	▲15.2
親会社株主に 帰属する 当期純利益	15,900	▲1.7	▲7.6

(百万円)

	2025年3月期 通期 予想	2024年3月期 通期 実績
海外売上高比率 (タカラバイオグループ除く)	59.2% (58.3%)	55.3% (53.9%)

10.2025年3月期 事業別 通期予想

(百万円)

		2025年3月期 通期予想	前期比 (%)	5/10予想比 (%)
宝酒造	売上高	118,489	▲4.3	▲3.2
	売上総利益	29,674	▲6.5	▲7.7
	営業利益	4,683	▲14.9	▲18.3
宝酒造 インターナショナル グループ	売上高	185,700	+15.8	+3.7
	売上総利益	60,000	+16.0	+3.6
	営業利益	12,000	▲2.4	▲12.7
タカラバイオ グループ	売上高	45,500	+4.6	▲7.0
	売上総利益	27,081	+0.6	▲8.5
	営業利益	3,000	▲0.1	▲40.0

11.2025年3月期 宝酒造 通期予想

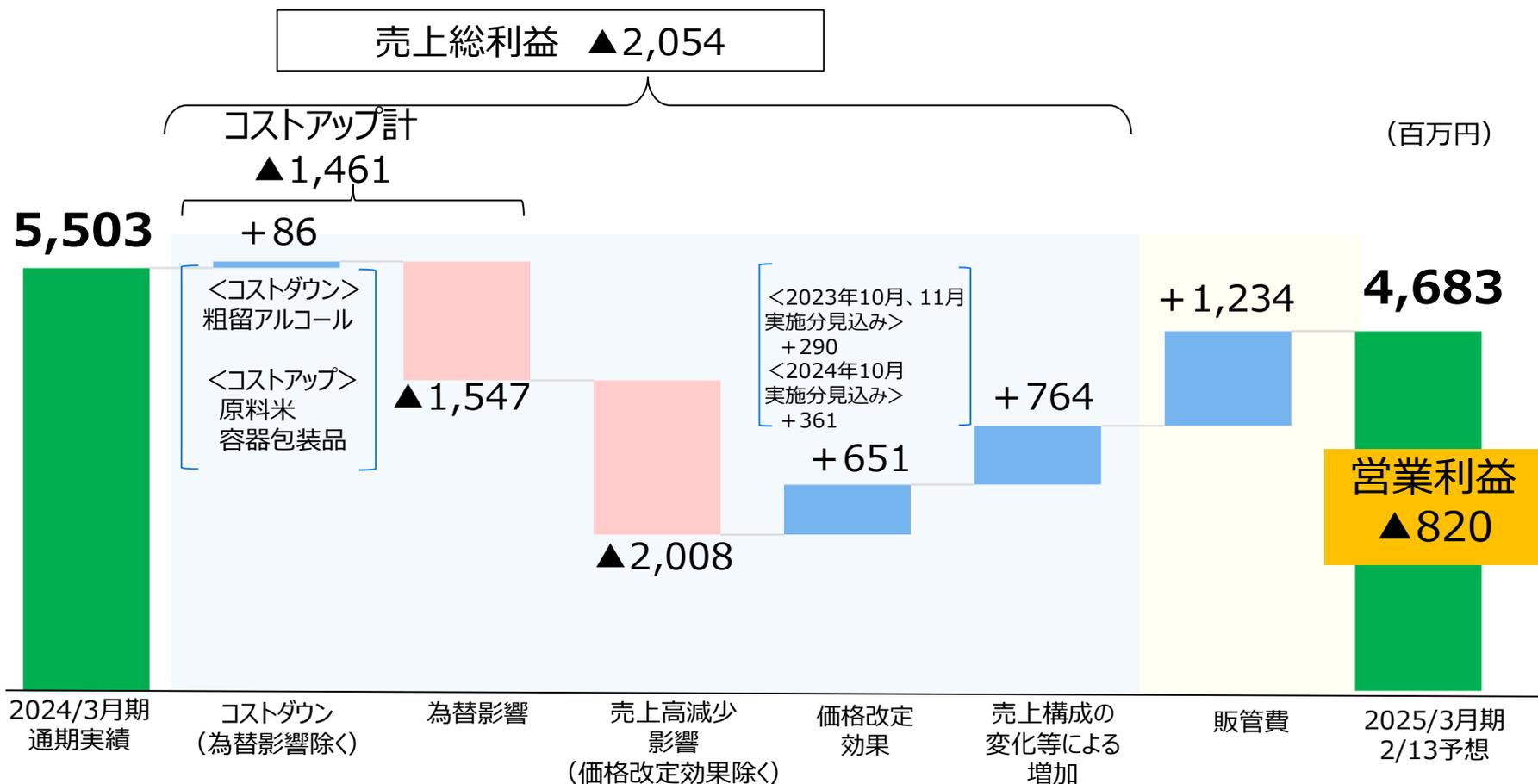
(百万円)

		2025年3月期 通期予想	前期比 (%)	5/10予想比 (%)
	焼酎	31,349	▲8.7	0.2
	清酒	10,625	▲8.0	▲9.0
	ソフトアルコール飲料	41,231	▲2.5	▲7.4
	その他酒類	5,131	▲5.6	▲1.8
	本みりん	9,724	+1.7	+3.4
	その他調味料	9,164	▲0.6	▲0.0
	原料用アルコール等	11,265	▲1.2	+1.7
売上高	118,489	▲4.3	▲3.2	
売上総利益	29,674	▲6.5	▲7.7	
営業利益	4,683	▲14.9	▲18.3	

12.2025年3月期 宝酒造 営業利益増減分析 <対前期>

為替影響によるコストアップや、売上高の減少により、価格改定効果や売上構成の変化等による増加があるものの、売上総利益が減少し、販管費の効率的な使用に努めるものの、減益となる見通し

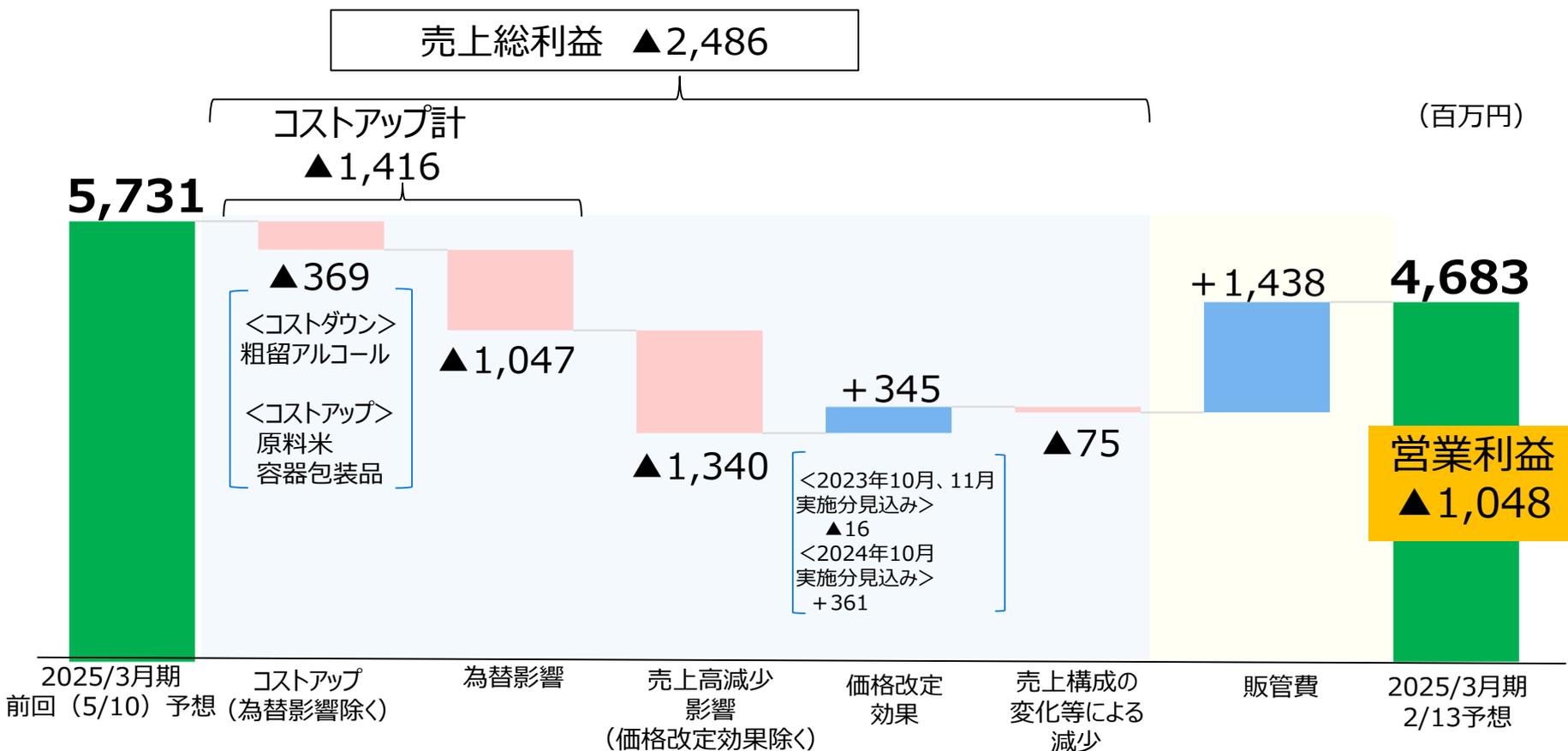
◇対前期営業利益増減分析 (利益の増加要因を「+」、減少要因を「▲」で表示)



13.2025年3月期 宝酒造 営業利益増減分析 <対前回予想>

為替影響を含むコストアップや、価格改定による売上高の減少により、価格改定効果があるものの、売上総利益が減少し、販管費の効率的な使用に努めるものの、減益となる見通し

◇対前回予想営業利益増減分析 (利益の増加要因を「+」、減少要因を「▲」で表示)



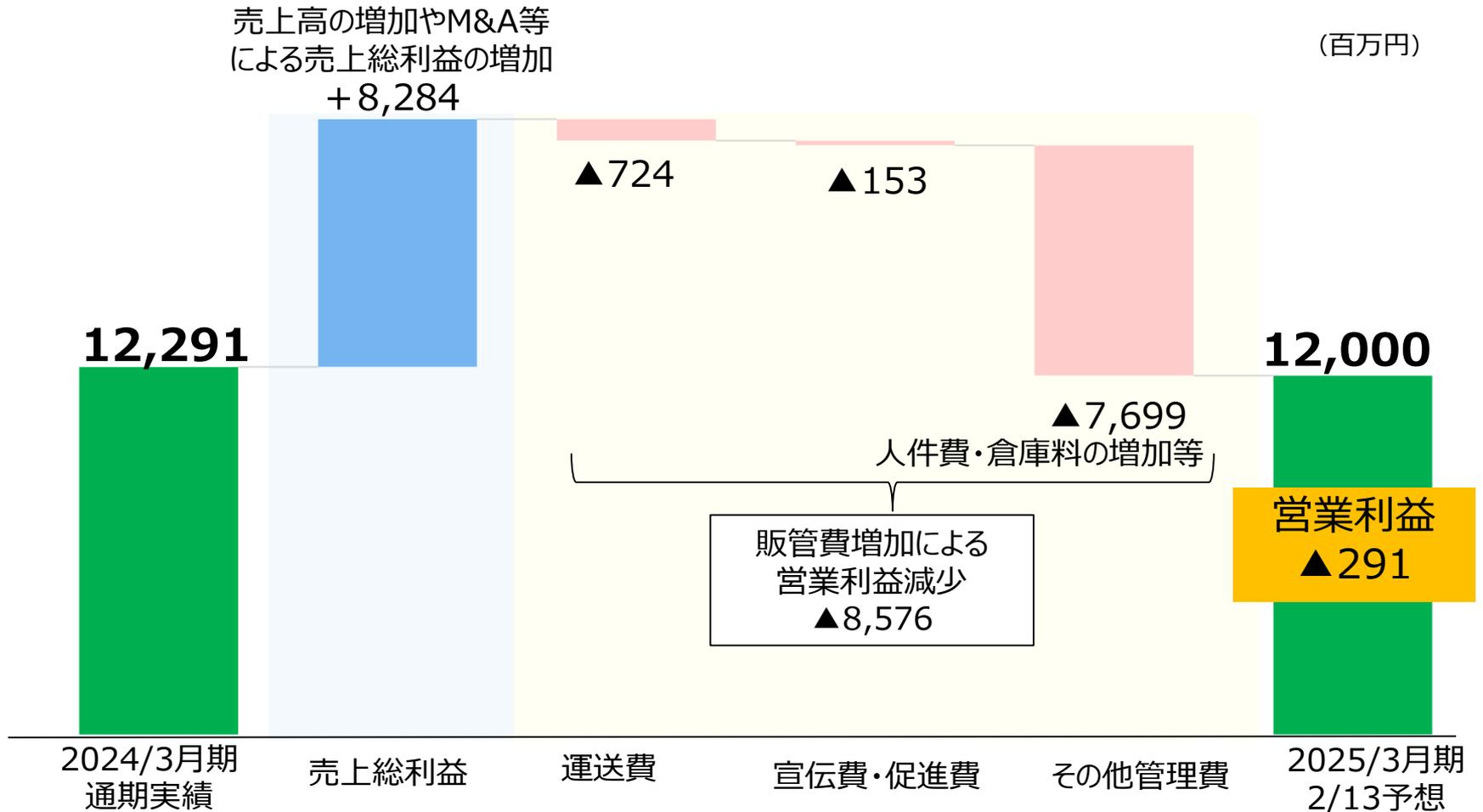
14.2025年3月期 宝酒造インターナショナルグループ 主要子会社通期予想

			2024年3月期 通期 実績		2025年3月期 通期 予想	
			売上高	営業利益	売上高	営業利益
海外酒類事業	米国宝酒造	千USDドル	44,771	5,048	45,357	5,456
		百万円	6,297	710	6,880	827
	宝酒造食品 (中国)	千元	44,002	▲ 2,983	41,237	▲ 3,434
		百万円	872	▲ 59	867	▲ 72
	トマーチン (英国)	千ポンド	31,429	9,753	23,671	5,710
		百万円	5,501	1,707	4,588	1,106
	イジ・インターナショナル (米国)	千USDドル	53,371	24,624	67,643	35,726
		百万円	7,507	3,463	10,260	5,419
海外日本食材卸事業	フーデックス7社連結 (欧州)	千ユーロ	177,735	7,978	169,014	6,372
		百万円	27,033	1,213	27,725	1,045
	コミンポート連結 (欧州)	千ユーロ	96,163	10,995	97,599	9,508
		百万円	14,626	1,672	16,010	1,559
	カーゲラー (欧州)	千ユーロ	-	-	24,869	2,423
		百万円	-	-	4,043	393
	タザキフーズ (英国)	千ポンド	74,815	4,579	84,635	3,131
		百万円	13,094	801	16,404	606
	ミューチャルトレーディング (米国)	千USDドル	562,804	29,070	604,425	22,999
		百万円	79,164	4,089	91,685	3,488
	ニッポンフード (豪州)	千AUDドル	67,298	3,974	71,768	3,814
百万円		6,282	371	7,179	381	
東京共同貿易	百万円	14,285	793	16,541	746	

15.2025年3月期 宝酒造インターナショナルグループ 営業利益増減分析 <対前期>

M&Aによる上乘せ等を含めた売上高の増加により、売上総利益は上回るものの、人件費や倉庫料等の販管費が増加し、減益となる見通し

◇対前期営業利益増減分析 (利益の増加要因を「+」、減少要因を「▲」で表示)

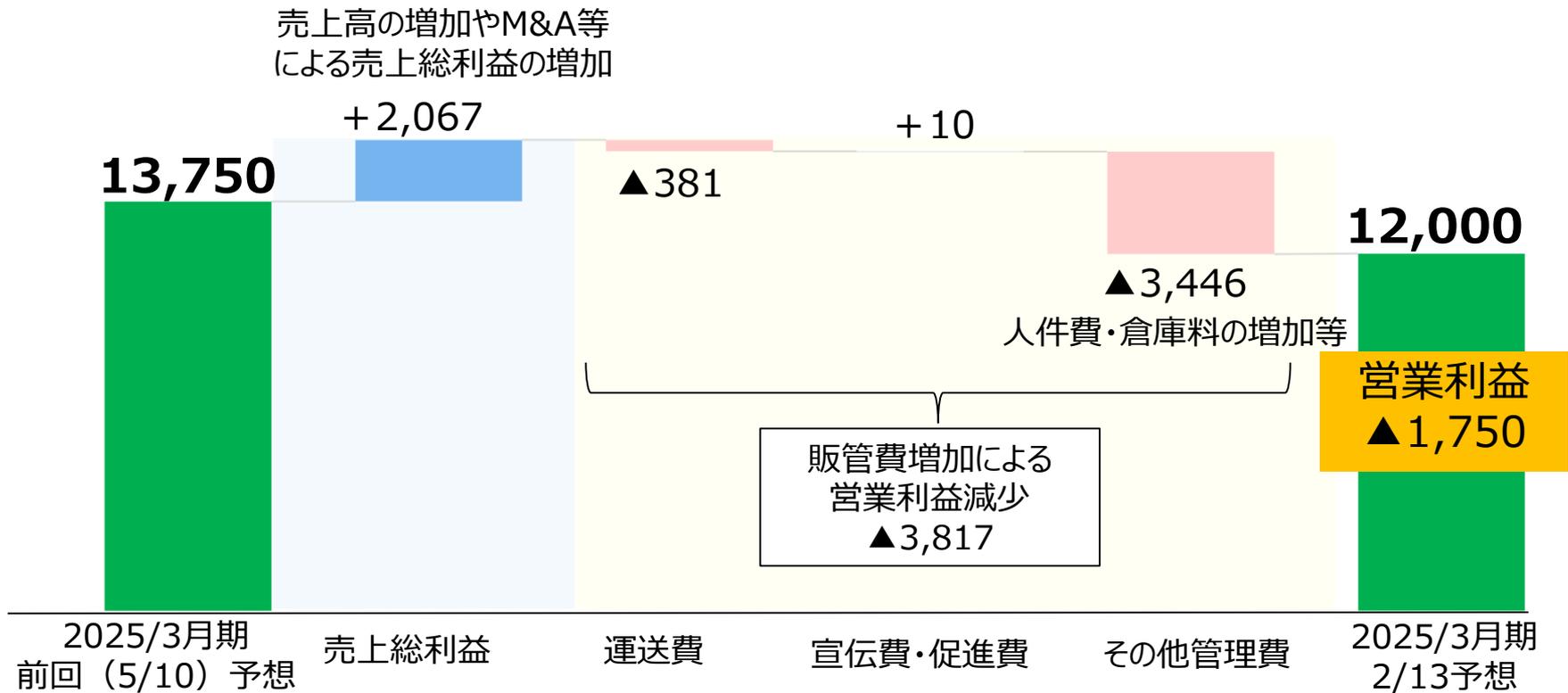


16.2025年3月期 宝酒造インターナショナルグループ 営業利益増減分析 <対前回予想>

予想時に織り込まれていなかったM&Aによる上乘せ等を含めた売上高の増加により、売上総利益は予想を上回るものの、それ以上に人件費や倉庫料等の販管費が増加し、営業利益は前回予想を下回る見通し

◇対前回予想営業利益増減分析 (利益の増加要因を「+」、減少要因を「▲」で表示)

(百万円)



将来見通しに関する注意事項

この資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

＜お問合せ先＞

宝ホールディングス株式会社

広報・IR部

E-Mail ir@takara.co.jp

TEL 075-241-5124